

福祉ながいずみ

第21回

長泉町福祉健康まつり 参加する福祉と健康づくり!!

平成21年
10月1日号 No. 140

社会福祉法人
長泉町社会福祉協議会
長泉町下土狩967-2 福祉会館内
電話 988-3920 FAX 986-3794
ホームページアドレス
http://www.nagaizumi-shakyo.jp

10月18日(日)
開催



車椅子ダンス



一輪車演技



点字に親しもう



スタンプラリーゴール



老人クラブ連合会バザー

詳細は本号に折り込のチラシをご覧ください。

eco

私たちは、環境にやさしい
おまつりを目指しています

模擬店では、ゴミの分別と減量化のため、
プラスチック容器やレジ袋を使用せず、
燃やせるゴミとして処分できる紙製の
容器を使用しております。

- ①バザー会場には、買い物袋をご持参ください。
- ②汁物をお持ち帰りの方は、タッパーなどの
容器等をご持参ください。
- ③会場内のゴミの分別にご協力ください。

平成21年10月1日

福祉ながいずみ

(4)

福祉ながいずみ 情報コーナー

ご存知ですか

日常生活自立支援事業

日常生活に不安がある高齢の方や障がいのある方がで
きるだけ住み慣れた地域で、自立して生活できるようにお
手伝いします。

「ふだんのお金の管理が不安だなあ…」
「福祉サービスはどのようにしたら使えるのだろう？」
「この頃ガス料金の払い込みを忘れがちだなあ…」
このようなときは、社会福祉協議会にお気軽にご相談くだ
さい。

相談は無料で秘密は厳守いたします。
契約後のお手伝いについては、1回
1,000円ですが、生活保護を受けてい
る方は無料です。

申込・問合せ 長泉町社会福祉協議会
電 話 987-7680
FAX 986-3794



福祉施設視察研修 参加者の募集!

福祉施設の視察研修を行います。一緒に見学に行きませんか?
と き: 10月29日(木) 14時30分~
※福祉会館前 13時15分集合 30分出発
訪問先: 御殿場市民交流センター「ふじくら」(御殿場市萩原988-1)
定 員: 20名(先着順)
参加費: 無料
申込・問合せ 長泉町社会福祉協議会 ☎988-3920

遠足ボランティア養成講座 受講生募集!

ボランティアに興味のある方、何かやってみたい方年齢・性
別は問いません。あなたのことを必要とする人がいます! 正し
いヘルプ方法を学び、障がいのある方の外出等の援助をするボ
ランティアを養成します。
と き: 11月28日(土) 13時30分~
ところ: 福祉会館
受講料: 無 料
申 込: 社協へ電話又は窓口で申し込む。
☎988-3920
メ 切: 11月16日(月)



団塊世代!男の料理教室 参加者募集!

今まで料理は人まかせだった男性、お父さんの皆さん! ここで調
理をしてみませんか? 意外な自分を発見できるかもしれません!
と き: 12月5日(土) 9時~
ところ: 保健センター3階調理室
内 容: そば打ち
定 員: 20名(先着順)
受講料: 300円
申 込: 福祉会館内(社協窓口へ)料金を添えてお申込み下さい。
☎988-3920
メ 切: 11月24日(火)



福祉サービスの苦情解決について

長泉町社会福祉協議会が実施している福祉サービスにつ
いて、利用される皆様からのご意見、ご要望や苦情等があり
ましたら、遠慮なく「苦情受付担当者」にご連絡下さい。

苦情解決責任者 事務局長 井出 勝

苦情受付担当者 辻 剛 ・ 今井 洋子

第三者委員 須田 滋郎 ・ 竹内 和代

* 第三者委員とは、中立・公平な立場にある方で、苦情解決を円滑・
円満に進める方です。

長泉町社会福祉協議会
電 話 055-987-7680(受付担当者)
FAX 055-986-3794



平成21年度 暮らしの相談『法律』のお知らせ(相談無料)

☆ 相談日時: 毎月 第4火曜日 10:00~15:00

☆ 予約方法: 予約は前月相談日の翌日から電話や窓口で受付けております。
その際、時間等調整いたします。

☆ 相談場所: 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷 1階相談室(相談は来所のみ)
予約時間の**5分前**にいずみの郷1F窓口にお越しください。

☆ 相 談 員: 法律専門家 植松敏彦氏 相談定員: 先着4名

☆ 相談内容: 専門家が暮らしのなかの法律に関するお困りごとについて、親切丁寧に
無料でお答えいたします。お気軽にご相談ください。

秘密は厳守されます。

開催日程 相談には事前予約が必要です

月 別	相談日	予約受付開始日
11月	24日(火)	10/28(水)
12月	22日(火)	11/25(水)
平成22年1月	26日(火)	12/23(水)
2月	23日(火)	1/27(水)

予約申込先
長泉町社会福祉協議会
担当: 今井・青柳 電話987-7680

なお、3月以降も継続して毎月第4火曜日に行う予定です。

この広報誌には赤い羽根共同募金の助成金が使われています。

いずみの郷事業所紹介(ヘルパー)

～届けたいのは温もりです～

訪問介護サービスは、経験豊かなスタッフが利用者様のご自宅を訪問し、身の回りのお世話などを行う介護サービスです。



住み慣れた環境で、いつまでも安心して暮せるように、心のこもった温かいサービスの提供に努めています。

ご利用の有無に関わらず、介護についての不安やご質問等がございましたら、お気軽にご相談ください。

☎055-988-6688 担当 中村



🌸 私たちがお手伝いいたします 🌸



認知症は身近な病気です④

認知症になりにくくする心がけ

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気であることから「予防できない」と思われがちですが、毎日の生活の中で次の様な点に気を配ることによって、ある程度発症や進行のリスクを抑えられると言われています。

☑ 食事や運動など、生活習慣病の予防を心がけましょう

脳血管障害(脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化など)による認知症の場合は、高血圧や高脂血症、肥満などの対策をとることが有効です。

また、アルツハイマー病でも、生活習慣病対策が発症のリスクを減らすことが示されています。食事や運動、睡眠など、生活習慣に気を配ることで、認知症になりにくくと共に、認知症の発症や進行を遅らせられると期待されます。



- さんまなどの青魚には、血液をサラサラにするEPA(エイコサペンタ塩酸)や神経細胞に良いDHA(ドコサヘキサ塩酸)が多く含まれています。
- 脳の栄養源は、ご飯などの「糖質」です。特にご飯は分解吸収がゆっくりなので腹持ちがよく、肥満や糖尿病の予防にも役立ちます。
- 適度な運動は、生活習慣病を予防し、脳内の血液量を増やします。体操やウォーキングなど手軽なものから始めてみましょう。

☑ 意識して脳を使うことで、脳の活性化を図りましょう

脳を使わないこと(廃用)が認知症の発症や進行を早めます。それだけに、日頃から脳を活性化させることが大切です。脳を活性化させるにはいろいろな方法がありますが、大切なのは、「楽しく行なう」こと。音読や計算などの「学習」トランプやマーじゃんなどの「ゲーム」が脳を活性化させるのはいうまでもありませんが、絵を描いたり歌を歌うなどの「趣味活動」、さらには仲間と一緒に昔の遊びや仕事について語る事なども、脳に刺激を与えます。

やさしい心
ありがとう

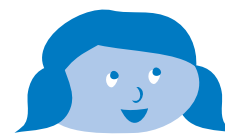
🌟 物品寄付

(清拭布、牛乳パック、ブルタブ、古切手、野菜、アルミ缶他)
流石正彦、村田良昌、渡辺朋子、阿部浩二、増尾隆彦、濱岡洋、池田まさ子、沼上とき子、青木覚、上杉美江子、早津知子、ヨセミテ、(株)不二精機製造所、丸勇建設(株)、華蓮の会、訪問看護ステーション友厚会

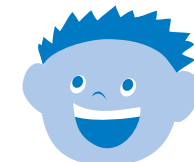
🌟 寄付金

鈴木将雄、中日本高速道路(株)東京支所、NEXCO中日本沼津工事事務所
(平成21年8月1日～平成21年8月31日)

🍁 この広報誌には赤い羽根共同募金の助成金が使われています。



福祉教育実践校だより



三島高校の活動



▲ 視覚障がいの方から盲導犬のことを学ぶ様子

三島高校には学科色が前面に打ち出され、実施される土曜講座があります。その時間を使って様々な取り組みをしています。

生徒たちは福祉科に入ると、施設実習が行われます。各施設に入り利用者の方にどんな介護をすべきかを実習で学んでいかなければなりません。その為に、福祉に従事するためのこころを育てたいと思っています。9月12日の土曜講座では、1年生が2組に別れて、点字講座と手話講座を実施。1回目はガイダンスを中心に行います。視覚障がいの方が盲導犬を連れてきて見せ、どのように犬と行動しているのかを話して頂きました。聴覚障がいの方からは、手話がどれだけ生活の中のコミュニケーションとして大切かを通して知りました。「口動作だけでは『たばこ』と『たまご』同じように見えるでしょ」と。生徒たちは約2時間、それぞれの講座を真剣な顔で聞いていました。ハンディをどのように克服しているのか、その努力にも圧倒されたようです。

現在長泉中学校では、VSS(ボランティア・サポート・スタッフ)を中心として、ボランティア活動に取り組んでいます。

VSSでは、毎週金曜日に行われるアルミ缶回収、ペットボトルキャップの回収など、日常的に活動するものに加え、赤い羽根や緑の羽根、夏休みの福祉体験学習やサマーショートボランティア、わくわく祭りへのボランティアスタッフとしての参加など、全校生徒の協力を必要とする活動の宣伝を行っています。今年度は、4月に行われた米山梅吉デーでのVSSメンバー募集に対し、多数の生徒が新たにVSSに加わってくれました。この事実を、全校生徒のボランティアに対する高い意識の表れと捉え、「できるときにできることを」の精神のもと、VSSだけでなく全校生徒が一丸となって、ボランティア活動に取り組んでいく姿勢を育成していきたいと思っています。

長泉中学校の活動



▲ わくわく祭りボランティアスタッフとして活動する、長中生の様子

長泉小学校の活動



▲ ボランティア委員によるアルミ缶回収の様子

長泉小学校では、ボランティア委員会が中心となってアルミ缶・ブルタブ・ベルマークの回収をしています。月曜日の昼の放送で全校に呼びかけ、火曜日の中休み回収し、アルミ缶・ブルタブは学年ごとに集計して大廊下に掲示しています。今年は、1年生がたくさん持ってきてくれました。ベルマークは種類ごとに仕分けします。全部の仕分けをするのは大変なので、PTAの方に最後の仕分けと集計をお願いしています。

その他、学年ごとに福祉教育に取り組んでおり、低学年は、手話で歌を歌うなど福祉について楽しく学習しています。中学年になるとアイマスク体験やバリアフリーについて学習し、町内の福祉施設の見学をします。高学年になると幼稚園・保育園児やいずみの郷でお年寄りとの交流を通して福祉について学習します。いろいろな体験を積み重ね、相手の立場を考え思いやる心を持って行動できる人になって欲しいと思います。

🍁 この広報誌には赤い羽根共同募金の助成金が使われています。